

副官	隊長

分

白雲三景

共產黨ノ我軍隊ニ對スル思想の瓦解
工作ノ真相ト之カ防遏方策

極秘

參考

昭和四年四月五日
北支那方面軍司令部

国立公文書館	
分類	
配架番号	8-8

14.5.3
付受

1967
10CT17
4000

#1433

後集編再令部復寫

労働者ノ所得税ノ申告ニ年收三千圓、四千圓ト自ラ申告スル者ガザレ
ニアル位ダカラ實收入ハ之以上アルコトガ解ル、土曜、日曜ニハ労働
者ガ二等ノ汽車ニ乘リ大威張リテ家族ヲ引キ連レ温泉へ遊ヒニ行ク者
ガ随分多イトノコトデアル

以上ノ様ナ社會的不均衡ノ状態殊ニ出征軍人ノ家族ノ困難ナル狀況ハ
家庭通信其他ノ方法デ戦地ノ軍人ガ知ル

然ルニ戦地ノ軍人ハ身命ヲ犠牲ニ供シテ君國ノ爲働イテ居ルノサアル
カラ内地ニ於テ斯クノ如キ状態ガアルコトヲ知レバ不平不滿ノ氣持ニ
モナリ軍人ノ思想ニ及ス影響ハ決シテ少クナイト思フ

第八 共産黨（軍）ノ我軍隊ニ對スル瓦解工作等

ヲ防遏スル爲採ルヘキ思想對策

其一 思想對策ノ重要性

共産黨（軍）ガ思想攻撃ノ重點ヲ我軍隊ニ指向シ我出征軍隊ヲ思想的
ニ瓦解セシメ様トシテ凡有方法ノ手段ヲ盡シテ猛烈ナル策動ヲ行ヒツ

ツアルコトハ前ニ説述シタ通りデアル

然ルニ戰場ニ於ケル我軍隊ハ既ニ作戦一段落ヲ告ケ今ヤ駐留配置ヲ採
リツツアルカラ精神ノ緊張ガ動々モスレバ緩ルミ敵愾心モ衰ヘ密カニ
戦闘ノ惨烈性ヲ追想スルト共ニ故郷ノコトヲ思ヒ一日モ早ク内地へ歸
リ度イ氣持トナリ又戰場ニ於ケル軍人ノ困苦缺乏ノ生活ト資本家ヤ會
社員及労働者等ハ生活振リトヲ比較スル等ニ依リ色々ノ不平ヤ不滿ガ
増加スル傾向ニ在ル

共産黨ハ右ノ如キ不平不滿ニ油ヲ注ク様ナ宣傳ヲ巧妙ニ行フカラ其影
響ハ時日ノ經過ト共ニ益々大トナルモノト見ナケレバナラン

故ニ「日本ノ軍隊ハ大和魂ガアルカラ大丈夫ダ」ト云ツテ安心シ油斷
スルコトガ最モ危険デアル、コンナ考ヘテ幹部ガ持ツテ居ルト採ルヘ
キ對策モ採ラナイ事ニナルカラ益々危険デアル、要スルニ軍ニ於テ若
シ徹底セル對策ヲ講スルコトナクシテ成リ行キノ儘ニ放置スレバ軍人
ノ思想ハ益々悪化シ遂ニハ恐ルヘキ結果ヲ生ジナイトモ限ラナイ、誠

ニ憂慮スヘキ事デアルト思フ

歐洲大戰ニ於テ獨逸ハ作戰デハ大體勝ツテ居タニモ拘ラヌ英國等ノ赤
化工作ニ依ツテ獨逸軍隊ガ思想的ニ崩壞シタ爲ニ遂ニ戰爭ノ敗者トナ
リ屈服スルノ止ムナキニ至ツタ事實ヲ思ヒ出ス時吾人ハ大ニ考ヘサセ
ラレルノデアアル

故ニ軍隊及憲兵隊ハ勿論高等司令部ニ於テモ眞ニ有效ニシテ適切ナル
思想對策ヲ講シ軍人ノ思想惡化ヲ徹底的ニ豫防スルコトガ極メテ肝要
デアルト信スル

之カ爲ニハ次ノ様ナ緊急對策ヲ講スルコトガ緊要デアルト思フ

其二 軍隊自ラ速ニ實行スヘキ思想對策

一先ツ將校ニ思想對策ノ重要性ヲ認識セシムルコト

思想對策ハ作戰等ト違ヒ極メテ地味デアツテ方法方面倒デアアル而モ
其效果ガ充分現ハレタカドウカ明確ニ解ラナイコトガアルカラ兎角
怠リ廢テニ成リ易イ

故ニ徹底シタ思想對策ヲ講スルコトガ極メテ緊要デアアルコトヲ將校
ニ能ク認識セシメテ萬難ヲ排シテ有效適切ナル對策ヲ實行セシメル
コトガ肝要デアアル、之ガ爲ニハ先ツ共產黨ノ採ルヘキ陰謀及共產黨
軍ガ現ニ採リツツアル我軍瓦解工作ノ真相竝ニ我出征軍人ノ思想傾
向ノ實況等ヲ高等司令部以下各軍部ノ將校ニ具體的ニ知ラシメ徹底
セル對策ヲ講スルコトノ重要性ヲ充分認識セシムルコトガ最モ肝要
デアルト信スル之カ爲ニハ將校ヲ集メテ講話シ或ハ印刷物等ヲ配布
スルノガ良カラウ

ニ討伐ニ方リテハ共產軍（匪）ニ重點ヲ傾注シ之ヲ覆滅スルコト

共產黨ノ策動ヲ根本的ニ防遏スルニハ其原動力タル共產軍（匪）ヲ

討伐撲滅スルコトガ肝要デアアル

ニ軍隊ニ於テ精神教育ヲ徹底的ニ行フコト

共產黨（軍）ガ我軍隊ニ對シテ行フ瓦解工作ニ對抗スル爲ニハ精神
教育ヲ徹底的ニ實行シテ敵方如何ニ宣傳シテモ少シモ動搖シナイ様

ナ確固タル信念ヲ部下軍人ニ與ヘルコトガ最も肝要デアル
然ルニ軍隊ノ實狀ヲ見ルト警備、討伐等治安工作ニ忙殺セラレテ仲
々時間ノ餘裕ガナイノミナラス軍隊ガ分散配置ヲ取り而モ各種ノ勤
務ニ就イテ居ルカラ部下ヲ集メテ教育ニルコト頗ル困難デアル、而
モ下級將校ハ幹部候補生出身將校、特別志願將校等精神教育ノ經驗
乏シク其上精神教育ノ爲必要ナル資料ガ整ツテ居ナイ爲ニ軍隊ニ於
ケル精神教育ハ動モスレハ不徹底ニ陥リ易イ狀況ニアルト思フ
甚タシキニ至リテハ精神教育ナド長時日間殆ンド實行シテ居ナイ隊
モアルトノ事デアル
故ニ高等司令部等ニ於テ精神教育資料ヲ整備シテ之ヲ各中隊等ニ配
布シ萬難ヲ排シテ精神教育ヲ實行サセルニトガ極メテ緊要デアル
尙從來我軍ハ俘虜ニナルコトヲ最大ノ恥ニシテ居ツタガ今事態ニ
於テハ共產黨ノ俘虜優待工作ノ爲俘虜トナツテモ平氣デ居ルモノガ
アル

故ニ俘虜ニ對スル徹底シタル觀念ヲ與ヘ絶對ニ俘虜トナラナイ様ニ
教育スルコトガ肝要デアル
共產軍ヤ中央軍ノ實狀ヲ諷ヘテ見ルト敵軍ニ於テハ精神教育ニ非常
ナ力ヲ用ヒ殆ンド毎日相當ノ時間ヲ此ノ教育ニ充當シテ居ルトノ事
デアル

四 部下軍人ノ思想傾向ヲ調査シ個性ニ應シ特別對策ヲ講スルコト
各種ノ手段ヲ盡シテ部下軍人ノ思想傾向ヲ綿密ニ調査シテ記録ニ止
メ各自ノ抱持スル思想ニ應シ適切ナル指導方策ヲ講スルコトガ肝要
デアル、思想傾向ノ調査ノ爲ニ次ノ如キ方法ヲ用フルノガ良カラウ
ト思フ

1 軍隊内部ニ於ケル言動ヲ調査スルコト

2 外出先其他上官ノ監視外ニ於ケル言動ヲ調査スルコト、外出先ノ
言動、立寄先、交友關係等ヲ調査スル爲ニハ憲兵隊ト密接ニ連絡
協力スルヲ可トス

3 過去ニ於ケル各自ノ略歴、性行殊ニ思想動向等ヲ調査スルコト

4 郵便檢閲ヲ行フ時發信スル通信文ノ内容ヲ思想方面ヨリ觀察スルコト

從來發信郵便ハ軍事上ノ秘密ヲ漏洩シナイカト云フ事ニ重點ヲ置イテ各隊ニ於テ檢閲ヲシテ居ルカ此外更ニ思想傾向ヲ觀察スルト云フ見地ニ於テ檢閲スル事ガ肝要デアアル

△思想上注意ヲ要スル人物ノ監視取締ヲ嚴ニスル事

憲兵隊ヨリノ通報其他部下ノ言動調査等ノ結果思想上注意ヲ要スル人物ヲ發見シタナラバ之ニ對シテハ特別ナル精神教育ヲ施シテ思想的ニ轉向サセル様ニ努力スルト共ニ他面ニ於テ其言動ヲ絶エス監視シ特ニ思想的策動ヲ禁遏シ些少ト雖モ策動シタ時ニハ嚴罰ニ處スル事ガ緊要デアアル

又既ニ危險思想ニ感染シ而モ未タ轉向シナイ者ガ内地ニ歸還スレバ内地ニ於テ他人ニ之ヲ傳播シ其弊害ハ寧ロ花柳病ヨリ大デアアル

花柳病ニ罹ツタ者ハ直ル迄戰地ニ止メテ治療シテ居ルガ之ト同様ニ危險思想ニ感染シタル者モ之ガ眞ニ轉向スル迄内地ニ歸ヘサト特別ノ感化院ノ如キ所ニ收容シテ特別教育ヲ施シ轉向サセル様ニ仕向ケル事ガ必要デアルト思フ

△外部ヨリ軍人ニ對シテ行フ思想的策動ヲ警防スル爲採ルヘキ手段

1 郵便檢閲ハ從來各隊ニ於テハ多クハ軍專ノ秘密ヲ保護スルト云フ見地ニ於テ單ニ發信ノミニ就テ行ツテ居ルガ現今共產黨ヤ内地ノ左翼分子ガ郵便ヲ利用シテ宣傳文ヲ軍人ニ送ツテ居ル實情ニ鑑ミ著信郵便ニ就テモ檢査ヲ徹底的ニ行ヒ宣傳文又ハ宣傳文句ガ含まレテ居ナイカドウカヲ檢査スル事ガ肝要デアアル
若シ宣傳文ガ封入サレテ居タラ之ヲ沒收スル事ガ緊要デアアル
尙檢閲ニ當リ軍人發信郵便ヲ思想的見地ニ於テ觀察スル様ニ就テハ既ニ述ヘタ通りデアアル

2 慰問袋ノ中へ宣傳文ヲ入レテ送ツテ來タ例ガアルカラ慰問袋ノ内

容ニ就テモ検査シテ見ル必要ガアル

3 宿營地又ハ勤務地其他列車内等ニ於テ宣傳文ヲ撒布シタリ或ハ貼附シタリスル事ガアルカラ見附ケ次第之ヲ蒐集シテ成ルヘク我軍人ニ見セナイ様ニスル方ガ好イト思フ

若シ宣傳文ヲ多クノ者ガ讀ンダ形跡ガアル時ニハ其宣傳文ノ内容ヲ能ク検討シ其内容ノ文句ニ就キ理論ト實際トノ兩方面カラ反駁シテ説明ヲ加ヘ敵ノ宣傳ノ效果ヲ無効ニ終ラシメル様ニ努メル必要ガアルト思フ

4 外出先又ハ勤務地ニ於テ直接軍人ニ話シカケタリ宣傳文ヲ手交シタリシテ宣傳スル事ガアルカラ之等ノ豫防ニ就テモ注意ヲ要スル

5 敵ハ每晚ノ如ク日本語デラデオ放送ヲ行ツテ宣傳シテ居ルカララデオノ受信ニ注意シ敵ノ宣傳放送ノ如キモノハ聽カセナイ様ニ取締ルコトモ必要デアアル

6 内地カラ來ル家庭通信ニ依ツテ軍人ノ思想ヲ惡化サセル事ガアル

カラ軍人ノ家族ニ對シ注意書ヲ送り出征軍人ノ思想ニ影響スル様ナ通信文ヲ書イテ寄コサナイ様ニ注意スルノモ一方法デアアル

七 軍自隊トシテ思想惡化ノ原因トナルヘキ諸要素ヲ除ク事

1 傷病兵ハ衛生部員ノ取扱ガ不親切ダト云ツテ不平ヲ云フモノガ非常ニ多イ、之ハ衛生勤務者ノ監督、指導上特ニ注意ヲ要スル點デアアル

又衛生施設ヲ出來ル丈ケ良クシテヤルコトモ必要デアアル

2 軍人ノ慰安ノ施設ヲ出來ル丈ケ良クシテヤル事

3 古年次ノ召集兵ハ成ルヘク早く若イ者ト交代サセテ召集解除シテヤルコト

八 敵ノ俘虜工作ニ對スル處置

1 日本軍人トシテ敵ノ俘虜トナルコトノ恥辱、逃亡、奔敵ノ罪科等ヲ徹底的ニ教育ス

2 逃亡者アリタル場合搜索ノ手段ヲ講スルハ勿論ナルガ行衛不明ト

ナリタルノ故ヲ以テ過早ニ戰死シタモノト認定スルコトハ戒メネ
バナラン

3 俘虜トナリタル者ガ原隊ニ歸還シタル場合ニ於テハ敵ニ逆用セラ
レタル實狀ヲ嚴密ニ調査シ法ニ依ツテ嚴ニ處斷スルコトガ肝要デ
アル

六 内地ニ歸還スル軍人ニ對スル指導ヲ適切ニスル事

變遷地ヨリ内地ニ歸還スル軍人ノ思想ハ概ネ穩健デ軍紀モ亦概ネ嚴
正デアツテ歸還軍人トシテノ衿持ヲ保チ其言動ヲ慎ンデ居ルガ中ニ
ハ往々凱旋氣分ニ驅ラレ或ハ從軍ノ困苦ヲ體驗セリトノ優越感等ヨ
リ不謹慎、不穩當ナル言辭ヲ弄スルモノガ少クナイ
例ヘハ鄉黨ニ對シ自己ノ功績名聲ヲ吹聴センガ爲ニ殊更ニ事實ヲ捏
造シテ上官及他部ヲ誹謗シ甚シキニ至リテハ反戰的言辭ヲ弄シ或ハ
戰場ノ悲惨ヲ誇張シ又ハ物知り顔ニ軍機事項ヲ洩シ或ハ座裏ノ爲戰
場ニ於ケル軍紀風紀紊亂ノ狀況ヲ針小棒大ニ述ヘル等甚タ不謹慎ナ

著ガアル

此等ノ言動ハ皇軍ニ對スル國民ノ信頼ヲ傷ツケ且銃後ノ團結ニ罅隙
ヲ生セシムル虞レアルノミナラス往々ニシテ造言蜚語ノ原因トモナ
リ又國民ノ思想ニ惡影響ヲ及スコトガ多ク其弊害ハ極メテ大デア
カラ歸還軍人ニ對シテハ特ニ敍上ノ點ニ注意シテ精神教育ヲ徹底的
ニ行ヒ苟クモ不謹慎ノ言辭ヲ弄スルガ如キ事ナキ樣戒ムルト共ニ召
集解除後ハ國民ノ中堅トシテ國民精神總動員運動ノ核心トナリテ大
ニ活動シ更ニ銃後奉公ニ貢獻スル如ク努力スル樣教育指導スルコト
ガ肝要デアルト信スル

其三 憲兵隊トシテ實行スヘキ思想對策

共產黨ノ我軍隊ニ對スル思想的瓦解工作ニ對シ軍隊ヲ擁護シ且邦人ニ
對スル策動ヲ警防スル爲憲兵隊トシテ探ルヘキ對策ハ概ネ左ノ通りデ
アル

一 共產黨員（抗日分子共）ヲ徹底的ニ檢舉彈壓シテ共產黨ノ組織ヲ破

據シ其策動ヲ不可能ナラシムル如ク努ムルコト
之カ爲ニハ次ノ如キ方法ヲ講スル事肝要デア
ル

1 共產黨(軍)ニ對スル監察及諜報網ノ機構ヲ組織的ニ構成運用ス
ルト共ニ軍隊、新民會、領警等ト密ニ連絡シ的確ナル情報ヲ蒐集
スルコト

此際密偵報ヲ過信スルコトナク必ス其眞偽ヲ確認スヘキ處置ヲ講
スルコトガ肝要デア
ル

2 共產黨ノ内部的秘密組織及其潛行的策動狀況ノ眞相ヲ明カニスル
爲ニハ普通ノ密偵ヲ以テシテハ充分目的ヲ達スル事ガ出來ナイ
共產黨員ヲ逆用シ之ヲ操縦シ巧ニ内部ニ喰入ラシメル事ガ最モ有
效デア
ル此方法ニ依ツテ始メテ内部ノ秘密組織ヲ知リ一網打盡的
ニ逮捕スルコトモ出來ルノデア
ル

3 各種ノ情報ヲ綜合シテ思想上要注意人物名簿及寫眞ヲ調製整理ス
ルト共ニ共產黨ノ組織系統圖表ヲ調製補修シ常ニ最新ノ狀況ヲ明

カナラシム

4 共產黨員ハ下ツバノ小物ヲ捕ヘテモ大ナル效果ガナイ
黨ノ組織構成ノ状態ヲ深ク探究シ組織全體ヲ一網打盡的ニ逮捕ス
ルコトガ最モ緊要デア
ル

從ツテ檢舉時期ハ過早デアツテハイケナイ充分ニ組織ヲ探知シタ
ル後ニ各方面緊密ナル連絡ノ下ニ一舉ニ檢舉ヲ開始シ特ニ主要分
子ヲ逮捕スルコトニ努力スルコトガ肝要デア
ル

5 日本人及第三國人ニシテ中國共產黨ト連絡協調シ或ハ之ヲ指導援
助シツツアルモノヲ發見セバ之等ヲモ併セ檢舉彈壓スル事ガ必要
デア
ル

ニ 共產黨ノ我軍隊ニ對スル思想的策動ノ警防取締

1 共產黨ノ組織及策動ノ方法就中我軍隊ニ對スル瓦解工作ノ實況ヲ
調査シ先ツ之等ヲ究明スルコト

2 共產黨員ノ我軍隊及在留邦人ニ對スル宣傳文ノ散布及ビラ、ボス

タリ等貼附ヲ防遏スルコト

軍隊ノ駐屯地、警備地、列車内等ニ共產黨員ノ潛入スルヲ防止スルハ勿論黨員ニシテ宣傳文ヲ撒布シ又ハビラ、ボスタリ等ヲ潛カニ貼附シ又直接軍人ニ手交スルモノ等ヲ發見セハ速ニ犯人ヲ逮捕スルト共ニ宣傳文等ヲ蒐集シ軍人等ニシテ之ヲ拾得又ハ閱覽スルコトヲ防止ス

3 郵便ヲ利用シ宣傳文ヲ軍人及在留邦人等ニ郵送スルコトヲ防止スルコト

通信檢閲ヲ嚴ニシ封書中ニ宣傳文ヲ封入シ又ハ内容中有害ナル文句アルモノヲ發見セバ宣傳文ヲ沒收シ又思想宣傳ノ爲特ニ奮キ添ヘタルモノヲ發見セハ適宜之ヲ切除ク等ノ方法ヲ講スルコト

4 口頭ヲ以テ我軍人又ハ在留邦人ニ直接宣傳的言辭ヲ話シ掛クルモノヲ阻止スル事

共產軍（寇）又ハ其指導下ニ在ル者ハ往々日本語ヲ以テ巧ニ宣傳

スル事ガアル斯クノ如キモノヲ發見セバ直ニ之ヲ逮捕シ其背後關係ヲ究明スルコト

又軍人ガ外出時多ク立寄ルヘキ飲食店、料亭、カウエー、妓樓等ニハ共產黨ノ手先トナリテ宣傳スル女ガ居ル

斯クノ如キモノナキヤニ注意シ之ガ發見逮捕ニ努メネバナラン

軍隊内ニ居ル思想上要注意事項軍人軍屬ノ取締ニ協力スルコト

1 軍人ニシテ思想上特ニ觀察シ要スル人物ノ名簿ヲ所屬部隊ニ通報シ其異動ヲ絶エス整理シ常ニ部隊長ト協力シテ内外相呼應シテ監視ヲ徹底ス

2 特ニ思想上要注意事項軍人ガ外出等ニ依リ部隊外ニ於テ單獨行動ヲ取ル時ニハ之ガ言動交友關係立寄先等ヲ嚴ニ監察シ苟モ思想的策動ヲ爲スモノヲ發見セバ直ニ之ヲ抑壓スルト共ニ部隊長ト連絡シ適切ナル處置ヲ取ル事、之等ノ言動ハ觀察名簿ニ記入整理スル事

3 其他ノ軍人軍屬ノ外出時ニ於ケル言動、交友關係等ニ注意シ思想

上注意ヲ要スル言動ヲ調査ス、若シ注意ヲ要スルモノヲ發見セハ速ニ部隊長ニ通報スル事

4 軍人ヨリ發信シ又ハ軍人ニ宛テタル郵便物等ノ檢閲ヲ嚴ニシ思想上注意ヲ要スル文句又ハ宣傳文、刊行物等ヲ發見セハ部隊長ト連絡シ適切ナル處置ヲ講スル事

5 思想上有害ナル犯罪（抗命、上官暴行、侮辱、奔敵、逃亡等）ニ對シテハ部隊ト連絡シ斷乎タル處置ヲ採ルコト

四 内地ニ歸還スル軍人ノ言動取締

内地ニ歸還スル軍人還送患者アル時ハ出發前及輸送途中及宿營地、乘船地等ニ於テ之等ノ言動ヲ監察シ特ニ思想上注意ヲ要スル言動ヲ爲スヲ發見セバ其事由ヲ所屬指揮官ニ通報シ又不穩ナル思想宣傳ヲ爲スモノヲ發見セバ直ニ抑制スル等適切ナル處置ヲ採ル事ヲ肝要デアル

五 在留邦人中思想要注人物ノ取締竝ニ之等ガ軍人ニ對シテ行フ策動

ヲ警防スル事

1 北支ニ進出シタル左右兩翼分子ハ軍人ヲ利用シテ將來ノ企圖ヲ遂行セン事ヲ盤策シテ居ル様デアルカラ之等ノ分子ハ軍人ニ接近シ軍人ヲ獲得スル爲ニ色々策動スル事ガアルデアラウ

故ニ先ツ左右兩翼ノ思想要注人物ノ北支進出ノ狀況及活動ノ狀況竝ニ軍人ニ對スル接近策動ノ狀況ヲ嚴密ニ調査スル必要ガアル北支ニ進出シ又ハ來住スル思想要注人物ノ狀況、名簿等ニ就テハ内地ノ憲兵司令部其他ノ關係方面ト密ニ連絡シテ其真相ヲ究明スル事先決問題デアル

2 北支ニ進出シタ在留邦人等ニ思想注意人物中中國共產黨係人物又ハ蘇聯人等ト連絡交通スル人物ノ監視ヲ嚴密ニシ特ニ其策動狀況ヲ偵知スルコト

3 反軍反戰的言辭ヲ弄シ又ハ軍部ヲ譁謗スルモノ又ハ之ニ關スル文書ヲ發表セシモノノ眞意ヲ調査シ其背後關係ヲ究明スル

4 與亞院連絡部、新民會其他軍關係機關ニ於テ使用シツツアル左翼ヨリ轉向シタル人物ノ監視ヲ怠ラヌ事

5 通信檢閲上ノ注意ニ就テ既ニ述ヘタル所準用スル事

6 病院ヲ慰問ニ籍口シテ患者ニ待遇不滿ヲ煽動シ反軍反戰思想ヲ宣傳スルモノヲ取締ル事之カ爲病院ト密ニ連絡スルコト

其四 高等司令部ニ於テ實行スヘキ思想對策

一 滅共委員會ヲ未タ構成シアラサル兵團ハ速ニ之ヲ組織スル事

思想對策ハ單ニ軍隊ノミヲ以テ實行シ得ルモノデハナイ軍隊ヲ中心トシテ日支各機關ガ強力ナル統制ノ下ニ一致協力シテ始メテ充分ナル成果ヲ發揚シ得ルモノデアアル

此見地ニ於テ方面軍ノ滅共委員會規定ニ依リ速ニ各地ニ委員會ヲ組織シ各機關ノ思想對策業務ヲ統制スル事ガ肝要デアアルト信スル

二 共產黨及共產軍ノ撲滅方策ヲ徹底的ニ實行スル事

共產黨ハ目下敵側ニ於ケル長期抗戰強要ノ原動力トナツテ居ルカラ

今次事變ヲ成ルヘク速ニ解決ニ導ク爲ニモ又共產黨ノ思想的瓦解工作ヲ根本的ニ絶滅スル爲ニモ其策動ノ根源タル共產軍ヲ撃滅スルト共ニ共產黨ノ組織ヲ破壊スル事ガ最モ肝要デアアル

三 共產軍（匪）ヲ徹底的ニ討伐撲滅スル事

軍ノ討伐作戰ニ方リテハ兵力ノ重點ヲ成ルヘク共產軍（匪）ニ指向シ軍ノ占據地域内ハ勿論軍ノ作戰可能ノ範圍内ニ於ケル共產軍（匪）ヲ速ニ掃蕩撲滅スルコトガ肝要デアアル

四 共產黨ノ組織ヲ破壊スル事

共產黨ノ組織ニ就テハ第三章ニ於テ詳述シタ通りデアツテ軍ノ勢力圈内ニ於テハ各地ニ秘密組織ヲ設ケテ潛行的ニ活動シ共產軍（匪）ノ勢力圈内ニ於テハ公然ソヴエート區ヲ設定シテ共產黨員ヲシテ政治、經濟、文化等ノ實權ヲ掌握シテ居ル又共產軍ノ内部ニハ共產黨員ヲ以テ政治部ヲ作り思想工作ヲ猛烈ニ實行シテ居ル故ニ軍ノ勢力圈内ノ秘密組織ニ對シテハ偵諜網ヲ擴充統制シテ暗躍

95

シツツアル共産黨ノ組織機構ヲ明カニシ片端カラ共産黨員ヲ檢舉シ
特ニ主要分子ヲ逮捕シ其組織ヲ破壊スル專ガ必要デアアル之カ爲ニハ
憲兵隊ヲ運用スル專ガ肝要デアアル

ソヴエート區ニ對シテハ討伐ニ依ツテ其地域ヲ我勢力圏ニ收メ政治
經濟、文化等有ユル方面ニ喰入リテ居ル黨員ヲ撲滅シ親日分子ヲ以
テ入レ換ヘル必要ガアル

又共産軍内部ノ政治部ハ共産軍ヲ擊滅スル專ニ依リ自然ニ之ヲ撲滅
スル專ガ出來ルデアラウ

共敵ノ國共合作ヲ破壞シ抗日救國ノ統一戰線ヲ崩壞ニ導キ中央軍ヲシ
テ共産黨軍ヲ擊滅セシムル如ク工作スルト共ニ對敵思想戰ヲ強化徹
底シ思想攻堅ノ重點ヲ共産黨ニ指向スル專

共産黨軍ハ陝西、甘肅等ニ根據ヲ有シ寧夏、新疆等モ蘇聯赤魔ノ勢
力下ニ入リツツアル而シ此廣大ナル地域ニ亘ル共産勢力ヲ我武力ニ
依リ徹底的ニ覆滅スル專ハ極メテ困難デアアル

爾テ考ヘルノニ國民黨ト共産黨ノ提携合作ニハ大ナル矛盾性ガアル
即チ兩黨ハ目下唯タ抗日救國ノ名ノ下ニ合作シテ居ルガ兩黨本來ノ
主義政策ニ於テ根本的ノ差違ガアルカラ至ル所ニ於テ兩黨ノ摩擦相
剋ガ現ハレ共産軍ト中央系軍隊トノ間ニ於テモ既ニ衝突抗爭サヘ起
リツツアル

又國家社會黨、中國青年黨等共産黨トハ全然相容レナイモノモアリ
國民黨、C O 團等ノ内部ニハ熱烈ナル共産黨排擊者モ居ル

故ニ我ハ國共合作ノ矛盾性ニ乘シ宣傳、謀略等各種ノ手段ニ黨派ノ
摩擦相剋ヲ助長激化サセ以テ抗日戰線ノ統一ヲ破壞シ敵ヲ内部ヨリ
崩壞ニ導キ更ニ進ンデ中央系軍隊ヲシテ共産軍ヲ討伐擦滅セシメル
様ニ工作スル專ガ最モ有效デアアル

之レ即チ夷ヲ以テ夷ヲ制スル最良ノ手段デ我ニ取ツテハ最モ有利ナ
方法デアルト信スル

之カ爲ニハ國民黨及中央系軍隊ニ對シ蘇聯及共産黨ノ恐ルヘキ陰謀

ト罪惡ヲ暴露宣傳シテ反共思想ヲ鼓吹シ又共產黨軍ニ對シテハ國民黨軍ノ奮液壓迫ノ狀況其他兩黨ノ相剋抗爭ノ實例ヲ誇張宣傳シ或ハ一黨派ノ名ヲ僞稱シテ他黨派ヲ誹謗、強迫、テロ等ヲ行ハシメ次テ兩黨派ヲ離間シ兩者ノ相剋ヲ激化セシムルノガ有效デアラウ
其他敵ノ兩種軍隊ニ對シ戰爭忌避及反戰和平思想ヲ鼓吹シテ戰意ヲ喪失セシメ且敵兵ノ投降ヲ勸誘シ又軍紀破壞ノ觀念ヲ扶植シテ之ヲ瓦解ニ導ク事ガ肝要デアアル

要スルニ敵ニ對スル思想戰ヲ一層強化徹底スル事ガ緊要デ其方法トシテハ飛行機ニ依リ宣傳ビラヲ大規模ニ撒布シ又各地ニ在ル放送局ヲ總動員シテラヂオ放送ヲ行フ外各種ノ秘密工作ヲ併用スル事ガ必要デアアル

此種思想戰ヲ大々的ニ行フニハ北支、中支、南支ノ各軍ガ協力一致スル外海軍ト密ニ協力シ在外大使館、武館、通信社等ヲ總動員シ策三國ヲ介シテ敵側ニ巧ニ宣傳スル等内外相呼應シテ徹底的ニ行フ事

ガ肝要デアアル

要ハ思想戰ヲ強化統制シテ大規模ニ行ヒ其效果ヲ絶大ナラシムル事ガ最モ肝要デアアル

六 對敵思想戰ヲ強化徹底スル爲飛行機ヲ有利ニ活用スル事

對敵宣傳ヲ廣範圍ニ且大規模ニ實施スル爲ニハ飛行機ニ依ツテ宣傳文ヲ撒布スルノガ最モ有效デアアル

飛行機ヲ以テ爆彈ヲ投下シテ敵ヲ攻撃スル方法ハ敵ヲ殺傷シ建築物ヲ破壞スル外敵ニ與フル精神的效果ハ相當大デアアル併シ飛行機ノ爆彈投下ダケデハ共產黨軍ヲ撲滅スル事ハ不可能デアアル蓋シ延安其他共產黨ノ主腦部ノ存在スル所ニハ大低洞窟又ハ地下室ノ設備ガアツテ其中ニ隠レテ居ルカラ如何ニ爆撃シテモ彼等ヲ殺傷スル事ガ出來ナイ

然ルニ宣傳文ノ撒布ハ敵ノ思想ニ影響ヲ及スノデアツテ此ノ思想ハ如何ナル洞窟ノ中ニテモ地下室ニモ波及シテ效果ヲ發揚スルノミナ

ラス宣傳ニ依ツテ敵ノ一部ニ熾烈ナル反共思想ヲ扶植スル事ヲ得ハ其思想ハ逐次他ニ波及シ其效果ハ益々擴大スル
故ニ國民黨系軍隊ニ猛烈ナル反共思想ヲ扶植スル事ヲ得ハ遂ニハ同軍ヲシテ共產黨軍ヲ攻撃セシメ得ルノデアアル嘗テ蒋介石ハ第一次國共合作ニ依リ廣東ヨリ北伐ノ軍ヲ進メ揚子江沿岸ニ進出シテ北伐ニ成功シタル後共產黨ノ勢力擴大ヲ虞レテ國民黨軍ヲ以テ徹底的ニ共產黨軍ヲ討伐擊破シタ經驗ガアル

故ニ國民黨軍ニ少シク反共思想ヲ扶植セハ必スヤ共產黨軍ニ對スル攻撃ヲ開始スルデアラウ

斯クノ如キ謀略效果ヲ發揚スル爲ニハ國民黨系軍隊ノ存在スル都市ニ對シ大規模ニ反共思想宣傳ノ爲ノピラヲ散布スル事ガ肝要デアル此ノ目的ノ爲ニハ飛行機ヲ有利ニ活用スル事ガ極メテ緊要デアル

七 隸下將校ニ對シ思想對策ノ重要性ヲ充分認識セシムル事

其要領ハ軍隊ノ思想對策ノ第二項ニ於テ説達シタ通りデアル

八 精神教育ノ指導監督ヲ適切ニスル事

一 軍隊ニ於ケル精神教育ヲ徹底的ニ行ハシムル如ク適切ニ指導スルト共ニ其實施ヲ監督スル事

二 精神教育資料ハ成ルヘク高等司令部ニ於テ蒐集又ハ調製シテ隸下各中隊等ニ至ル迄配布スル事

三 陣中新聞ニ精神教育事項ヲ掲載シ各兵ヲシテ讀マシムル事

四 精神教育上有益ナル映画ヲ巡回觀覽セシメ又有益ナル雜誌等ヲ編纂シ配布スル事

六 其他軍隊ニ於テ思想對策トシテ實行スヘキ事項ノ監督指導ヲ適當ニ行フ事

十 軍人ノ思想惡化ノ原因トナルヘキ諸要素ヲ努メテ除去スヘキ方策ヲ講スル事

一 古年次兵ハ既ニ家庭ヲ編成シ家族扶養ノ核心トナルヲ以テ之ヲ水ク家族ヨリ離隔シテ軍隊内ニ於テ勤務セシムル時ハ家族ノ生活ノ

不安、家庭生活ノ不自然等各種ノ事情ノ爲戦争ニ對スル不平不滿ノ觀念ヲ持チ易キ境遇ニ在ル故ニ此等ヲ永ク召集シ置ク事ハ思想上ニ及ス影響最モ大デアルカラ事情之ヲ許セハ古年次ハ成ルヘク早ク新年次兵ト交代セシメテ召集ヲ解除スルヲ可トス

2 病院等ニ於ケル衛生勤務員ノ患者ニ對シ取扱ヲ懇切ナラシムル如ク指導ト監督ニ特別ノ注意ヲ爲シ且衛生勤務員ヲ充實シ手不足ノ爲ノ取扱ノ不親切ニ陥ル弊害ヲ豫防スルコト

又衛生施設ヲ出來ル限り完備スル事

3 給養、補給等ノ實施ヲ監督シ苟モ缺陷ナカラシムル如ク注意スルコト

4 軍人ノ慰安施設ヲ出來ル限り良クシテヤル事

5 國策會社及軍需工業ニ對スル監督指導ヲ國家機關ニ於テ適切ニ行ヒ社員、従業員等ノ待遇過度ニ向上セシメサル事

6 資本家、社員等ノ恣遊、横暴等ヲ適度ニ抑壓、取締リ且之等ノ自

肅ヲ促ス事

7 内地ニ於テ出征軍人ノ家族、戦死者遺族、傷痍軍人等ニ對スル待遇、生活ノ救助、失業ノ救済、物價騰貴ノ抑壓、物資ノ配給等社會政策、經濟政策ヲ適切ニ實行スル事

8 國民精神總動員運動ノ強化徹底ヲ圖ル事

第九 結論

之ヲ要スルニ蘇聯邦ハ今次事變ヲ利用シ支那ノ共產軍ヲ援助シテ其武力ヲ強化シ共產黨ノ各種策動ヲ威力的ニ支援セシムルト共ニ中國共產黨ヲ指導シテ徹底セル思想戰形ヲ整へ大規模ノ思想戰ヲ爲サシメ我軍隊ニ對シ猛烈ナル瓦解工作ヲ行ヒツツ在留邦人就中朝鮮人、臺灣人ニ革命思想ヲ鼓吹シ日本内地ニ對シテモ凡有方法手段ヲ盡シテ思想的崩壞ヲ圖リ又支那民衆ニ對シテハ抗日救國ヲ名トシテ民心ヲ獲得シ之ヲ民族革命ニ誘導シテ逐次ソヴエート區ヲ擴大シ益々支那ニ對スル赤化侵略ノ地歩ヲ進メツツアル